

本県に東北生産拠点

4社連携、12月出荷へ

理研興業の防雪柵

防雪柵メーカーで国内最大手の理研興業(本社・北海道)が東北地方六県向け製品の生産拠点を本県内に設けることが二十一日までに決まった。いわき、相馬両市に工場を持つ他社と提携、十二月中旬に生産、出荷を開始する。「地産地消」を全面に打ち出し、地域の実情に応じた製品作りに結び付ける。

理研興業は、原材料
供給のメタルワン建材
(本社・東京都)、柱
製造を担う横森製作所
(同)、柱の表面メッ
キ処理をするデンロコ
市、デンロコポーレ

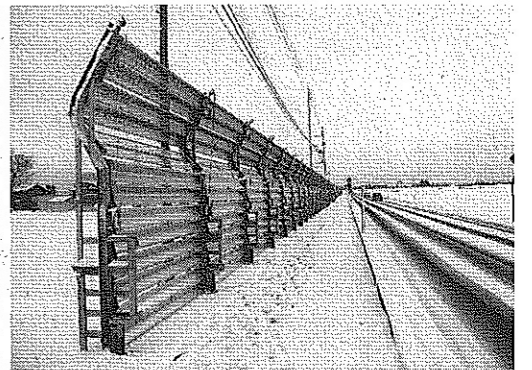
ーポーレシオン(本社
・大阪府)との四社で
業務提携契約を今月一
日に結んだ。
横森製作所はいわき
市、デンロコポーレ
シオンは相馬市のそれ
ぞれの既存工場で理研
興業の支援を受けて同
じ規格・品質基準で製
造する。これまではす
べて道内の自社工場で

生産されていた。
防雪柵は地吹雪など
を遮り道路上の視界を
確保するため行政など
が道路脇に設置してい
る。地形や天候条件な
どに応じ形態を変える
必要があるため、東北
地方に拠点を設け、き
め細かい情報収集や連
絡調整につなげる。
会津地方で防雪柵設
置に携わる建設会社の

経営者は「近くに拠点
があれば、的確な製品
の確保や補修時の部品
入手が容易となる」と
期待感を示した。

理研興業の柴尾耕三
社長、メタルワン建材
の高見弘東北支社長、
横森製作所いわき工
場の永井哲郎氏、デン
ロコポーレシオン
の藤村和男専務・東北
ガルバセンター長は
二十一日、提携報告の
ため福島民報社を訪れ
た。

柴尾社長は「地元ニ
ーズに的確に対応して
いくとともに地域企業
の育成も図りたい」と
狙いを語った。
福島運送の武田善啓
社長が同行した。



会津若松市内に設置され
た理研興業製の防雪柵



業務提携を報告した(前列右から)
柴尾、高見、藤村、永井の各氏

ふくしま経済